

第1部地域のまちづくりについて

	質問内容	当日の回答	回答者	補足、現在の状況・今後の対応等	担当課
1	県道705号線の進捗状況について	市道336号線～ひがしみち交差点の第1工区については、未買収地が1カ所あるが、県では、時間がかかっているが、交渉は続けている。工事については、今年度、ひがしみちの交差点からマンション前まで歩道と車道の整備をすると聞いている。 第2工区については、10月7日に県の方から地権者に用地買収についての説明はされている。今後の予定については、今年度、測量をして用地交渉に向けた図面等の準備をし、来年度以降用地交渉に入るという手順になっている。 また、完成がいつ頃になるかは、再度県に確認したところ、2工区の用地交渉にこれから入るということもあり、どのくらい難航するかわからないということから、完成年次は答えられない。	国県事業推進課長	当日回答のとおり	国県事業推進課
2	商店街に活気がなく、街の中に若者が集う場所等もない。今後、対策としての計画等はあるか。 秦野駅は神奈川大、東海大、上智短大の学生が多く利用している。彼らにアンケートを実施するなどしてニーズを把握し、それを施策に反映させるようなことはできないか。	商業振興の施策をいろいろ実施しているが、即効性あるいは特効薬はないので、商店街のにぎわいを創出するためのイベント事業への補助や、アドバイザー派遣制度など、様々な支援策を組み合わせることで活性化に向けて取り組んでいる。さらに、昨年度は国の交付金を活用し、過去最大規模の7億2000万円のプレミアム商品券発行事業を中井町と合同で行った。商店街の活性化を図るための施策として、商店街空き店舗活用事業補助金は非常に効果が高いと考える。昨年度から制度の見直しを図り、より広く申請者を募っている。 もう一つの質問で、昨年度、商業者に対しては、市内商業の現状や課題について把握し、より効果的な商業振興施策につなげることを目的として「商業実態調査」を実施した。現状の課題、問題の解決策として25パーセント近くがニーズの把握が必要と回答している。今後、若者あるいは消費者全体をターゲットにしたアンケート調査等を実施し、そのニーズを把握して、分析した中でにぎわいのある商店街づくりに生かしていきたい。	産業政策課長	当日の回答と同じ	産業政策課

3	<p>近隣の立木や雑草等に悩まされている。市の対策について説明を。</p>	<p>昨年の空家等対策の推進に関する特別措置法の施行に伴い、本市においても対策計画の策定など空家対策について推進をしている。</p> <p>近隣の空家の立木や雑草については、原則として、空家の所有者の責任において処理することが前提だが、所有者の連絡先がわからなかったり、所有者本人には言いつらいというケースもある。</p> <p>まず、市側において現地の状況を正しく把握する必要があるため、くらし安全課に相談いただければ、現場の確認をした上で、所有者に対し改善通知等を送付することも可能。</p>	くらし安全課長	当日の回答に同じ	くらし安全課
4	<p>秦野赤十字病院の現状及び見通しはどのようなか。八木病院の移転については、具体化しているのか。</p>	<p>秦野赤十字病院については、昨年3月以降、分娩業務を休止しており既に1年半が経過している。その間、県、日本赤十字社神奈川県支部、秦野赤十字病院と連携しながら、分娩業務の再開に向けて協議や交渉を進めてきた。</p> <p>本年4月からは、日本赤十字社神奈川県支部と秦野赤十字病院が、元昭和大学相談役を顧問として招き、長年にわたり病院経営に携わった経験と医療人材のネットワークを活かして、産科医師の確保に取り組むこととした。6月には、この顧問が計画する産科医師確保策についての報告に基づき、県、日本赤十字社神奈川県支部、秦野赤十字病院と市の4者により、今後の方向性として産科医師による24時間態勢、院内助産や助産外来を軸とした分娩業務等、可能性のある手法を見極めた上で早期の分娩再開を目指すことを確認した。引き続き、この協議組織の中で、産科医師の確保に取り組んでいく。</p> <p>八木病院は、現在の病院が、許可病床94床となっている。これを120床に増床するというのを、医療法人が考えており、県に対す申請が既に済んでいる。このうち婦人科は20床を予定しており、現在のところ産婦人科の診療態勢は、常勤医師3名・非常勤医師3名の計6名で、病院の建物規模は、鉄筋コンクリート造の6階建てを予定。引き続き、医療法人との情報共有を図り、できるだけ早期に新築移転ができるように取り組んでいく。</p>	健康づくり課長	<p>秦野赤十字病院の平成29年度の産婦人科の診療体制は、前年度と同じく非常勤の医師による妊婦健診、新生児健診、産前産後ケア、婦人科検診を実施します。</p> <p>八木病院については、昨年10月末に新築移転の時期を東京オリンピック開催前後に延期したい旨の申出があり、昨年12月に既存病院の増改築により婦人科の拡充を進めるとともに鈴張町市有地での新築移転計画が提出されました。</p> <p>本市としては、病院の事情により新築移転に至らなかった場合の担保や新病院での産婦人科の開設等を明文化した基本契約を締結することを条件に、最長平成33年3月まで鈴張町市有地を八木病院の新築移転先として確保することとし、現在基本協定の締結に向けて事務を進めています。</p>	健康づくり課

5	<p>くず葉台病院前の国道246号線交差点通過に市内側から田原側や国道に抜ける際渋滞を引き起こしてしまう。これに対して、いろいろお願いをしているが、いまだに解決できない。</p>	<p>信号規制を所管する秦野警察署も把握している。</p> <p>この交通渋滞の緩和方策の一つとして右折専用の矢印信号機を設置することが考えられるが、右折専用の矢印信号機の設定には右折レーンが必要となる。</p> <p>右折レーンの設置は、現状の道路では幅員も狭く、交差点の周辺形状からも拡幅は困難であることから、信号機の調整により問題解消が図れないか警察に見解を聞いた経過がある。</p> <p>また、既存の信号機を時差式にすることで渋滞緩和が図れないか、ということもあわせて警察の見解を聞いているが、市内側の交通誘導を確保するために、田原側の青信号表示の時間を短縮した場合は、交通安全上、田原側から246号線への右折禁止の交通規制を終日実施する必要性が生じることであり、東地区自治会や地域住民の承諾が必要不可欠となる。実現には大変苦慮しているが、関係機関と連携を深め、より良い方向に向かえる方法を研究したい。</p>	くらし安全課長	当日の回答に同じ	くらし安全課
6	<p>道路が狭く車の擦れ違いや歩行者の保護の観点から電柱の移設とか電線の地中化を図れないか。</p>	<p>電線等の地中化については、防災上、景観上、歩行者の安全確保などの観点から都市基盤整備の有効な施設であると認識している。</p> <p>しかし、無電柱化を行うには、歩道内に地上機の設置が必要となる。現在の技術では、歩道幅3.0m以上なければ整備ができないという課題もある。</p> <p>現在、無電柱化を進めている市道は、災害時の緊急輸送道路に指定されている市道6号線、新常盤橋から富士見橋の区間を中心に12路線の整備を行っている。</p> <p>市道の無電柱化の整備延長は約8,250mになる。今後の電線の地中化については、国の方針にも示されているとおり緊急輸送道路を優先して整備を進めている。具体的は、市道6号線の秦野橋から本町小学校までの区間、約200メートルの計画を進めている。</p> <p>また、現在整備を進めている県道705号線や本町四つ角周辺についても無電柱化の計画を進める必要は感じているので、平塚土木事務所に対して、引き続き、無電柱化整備の要望を行っていきたい。</p>	道路整備課長	市道6号線の整備については、今年度、設計委託を行い、約200メートル区間の早期完成を目指します。	道路整備課

7	<p>法令改正に伴って、秦野市としては、どういう形で空家を減少させていくのか、あるいは空家の実態調査が済んでいるのか、その進捗状況をお聞かせいただきたい。</p> <p>空地となっているところは草が出るのは当たり前なので、草が繁茂する時期には年2回なり3回なり草刈りをしていただくような形で、定期的な地権者への連絡、そういった対策をとれないものか。</p>	<p>平成26年度に実態調査を実施している。目視をして空家と思われるものが、その時点で936件あった。その後、昨年度の法律の施行により、所有者等の把握ができるようになったことから、平成27年度に所有者等に対するアンケート調査を実施した。</p> <p>こそうした中で、空家状態と思われても所有者から見ると「まだ空家ではない。活用しを考えています。」という回答が多かったが、所有者から空家状態で、なかなか管理が難しいと回答いただいたものが86件あった。</p> <p>この実態調査については、当然、追跡調査も定期的実施していく。そうした中で、空家の情報を一元管理できるようなものをつくりたい。</p> <p>指摘がなくても市で定期的な対応をということについては、情報としては把握できるので、所管部署とどのような対応が取れるのか協議をしていきた</p> <p>空家対策で一番大切なことは、空家自体を発生させないこと。</p> <p>空地、空家は、草が生えてしまうのが当たり前だから、連絡がなくても定期的な対策をということだが、やり方にも工夫はできると思うが、その前にそういうものが恒常的に繰り返されないようにアプローチしていくと行くことも大切になってくる。</p>	政策部長	<p>アンケート調査の対象とした物件について、未回答であったものや、使用実態が不明であったものもあったことから、現在、水道情報や、固定資産税課税情報等を確認するとともに、外観目視による追跡調査を実施し、実態の把握に努めています。</p> <p>今後は、新たに得た空家情報を加えたうえで空家に関するデータベースを整備することで、情報を一元化し、庁内の連携体制を強化していきます。</p>	企画課
8	<p>日赤は医師が少ない。これを増やせばもっと発展するのではないか。</p>	<p>日赤の医師は、2年前と比較すると、常勤医師が約2割程度減っている。今年(平成28年)の1月から3月の3か月間、消化器内科のドクターの退職に伴い、もともと4名いたものが1名体制という状況に陥った。今現在は、2名ということで常勤医師が持ち直しており、あわせて、他の診療科のドクターの協力も得て、消化器内科の外来も受けられるという状況にはなっている。</p> <p>産婦人科に限らず、各診療科のドクターを秦野赤十字病院のような、大学に付属していない病院が医師を確保するというのは非常に厳しい状況があるので、現在も院長はじめ日赤の幹部が医師確保に取り組んでいる。</p> <p>大森日赤病院から新たに総合内科を受け持つ先生が異動されており、そういった取り組みもあって、医師も少しずつ増やし、診療科目の充実も図ろうとしている。市としては継続してこうした状況を続けられるような支援をしていく。</p>	健康づくり課長	<p>現在、アンケート調査を行ったものに対し、追跡調査を実施中。</p> <p>空き地については、秦野市ごみの散乱防止等に関する条例の取扱の中で、環境資源対策課にて指導の対象になります。</p> <p>当日の回答に同じ</p>	健康づくり課

9	<p>医者不足対策として、赤十字病院に就職をする医学生を対象にした奨学金を考えてはどうか。</p> <p>また、医学生だけではなくて、看護師、検査技師なども秦野赤十字病院に勤務することを条件に奨学金制度を立ち上げるべきではないか。</p>	<p>一部、既に行われているものがある。医師確保については、県で修学資金を助成するような制度がある。ただ、神奈川県というような枠になっているので、必ずしも秦野市内の病院に医師が確保できるということではない。</p> <p>看護師についても、日赤として独自にそういった制度を持っているので、これを使って看護学校へ通い就職をされている方もいる。また、市としても医師会と連携をして、秦野市内の病院に就職することを前提とした修学資金制度を設けているので、毎年わずかだが、赤十字病院に就職をされている方もいる。今後、さらにこういった制度の普及啓発をさせていただきたい。</p>	健康づくり課長	当日の回答に同じ	健康づくり課
10	<p>県道705号線について、現在、第1工区の商店街の照明が抜かれているので真っ暗になるため進入禁止のところに入ってくる車がある。事故が起きてないように、対策を立てていただきたい。</p>	<p>防犯灯にゆいては、つける方向で県とくらし安全課で調整している。逆走する車については、現地を確認したところ、小さい一方通行の表示はあるが、その下に立看形式のものをつをつけることは了解が取れているので、関係課と調整しながら一方通行の表示をしていく。あわせて、右左折しかできないという、路面標示は警察の範疇となるが、できる対策をしようということになっている。</p>	国県事業推進課長	<p>○防犯灯2灯(くらし安課)、道路照明灯1基(平塚土木)H29.3未設置。</p> <p>○逆走防止立て看板設置済み(くらし安課)H28.12月</p> <p>○一方通行標識の大型化と路面表示について、秦野署へ依頼済み</p>	国県事業推進課
11	<p>商店街活性化について。本町地区は、昔から商業のまち。長い年月の中で、大型店があちこちに来た。それによって地元の商店が、落ち込んできた。ここでまた大型店競争が始まってきた。</p> <p>東道通りがどう変わっていくのかということを見ると、商店が残らないと、地域住民は生活が困難となる。お年寄りが、今後どこに買い物に行っていかわからなくなる。本町に一番欠けているのはハード事業じゃないかなと思う。</p> <p>5カ年計画の中でも検討していただき、大型店対策も考えていただかなければならない。</p> <p>本町地域のハード事業をこれから、商工課と産業政策課のそういうような方針決定をこれから考えていただければと思う。</p>	<p>本町地区の関係については、705周辺整備検討会で意見をうかがいながらまちづくりを進めさせていただいている。今、ご指摘をいただいたハード面でのことも踏まえながら、また、各課の連携ということも含めて、まちづくりの検討を進めていきたいと思う。</p>	都市政策課長	<p>検討会の専門部会でも検討し、市有地移転などの地元アンケート調査結果を踏まえ、周辺市有地の有効活用をはじめ土地利用計画については、土地に見合った内容を吟味し進めていきたい。</p>	都市政策課

12	<p>商店街の良さは、ものを売るだけでなく、地域の相談役であったり、愚痴をこぼしたりするようなどころでこれが商店街の良さであって、いいまちづくりができてきたと思う。大型店舗の台頭とかコンビニエンスストアあたりが台頭した関係で、まちの中の商店が衰退しているのは、今の現状。人口を増やすのではなく、歯止めをかける意味でも、商店街をいろいろな計画を立てながら、新しい商店街の復興を目指していくような運動を進めていただきたい。</p>	<p>商店街は、市の魅力そのもの。大型店にない専門性、店主の人柄・技術といったものを味わう場もある。市では、あきんど魂お役立て講座を開催していて大変ご好評いただいている。こういった講座、あるいは商店街ガイドブックについても、商店街の魅力を発信するためのもの。空き店舗対策についても、市内の商店街に限定した支援策。今後は、商店街振興に有効な施策を考えながら取り組んでいきたい。</p>	産業政策課長	当日の回答に同じ	産業政策課
----	---	---	--------	----------	-------

第2部市政全般について(公共施設の使用料について)

	質問内容	当日の回答	回答者	補足、現在の状況・今後の対応等	担当課
13	いつから実施を考えているか	<p>今回以外でも関係各施設の関係団体にも説明したいと思っており、そうした取り組みを経て、意見を取りまとめた最終的な判断をしていきたい。</p>	政策部長	当日の回答に同じ	公共施設マネジメント課
14	<p>このアンケートはいつ行われたのか。 公共施設の利用回数について「利用しなかった」と選択肢があるが、これは、知らなかったのか、本当に利用しなかったのか。</p>	<p>アンケートは、今年の8月の3日付で郵送し、8月26日までの約1か月間で回答をいただいたもの。 公共施設の利用回数について、記載の設問には、「不特定多数の市民が利用できる公共施設」という説明をしている。公民館とか図書館とかスポーツ施設など、職員がいてそこで受付をしている施設ということで限定をしている。「利用しなかった」という回答が3分の1程度ということで、公共施設自体をしらなかったというわけではないと考えている。</p>	公共施設マネジメント課	当日の回答に同じ	公共施設マネジメント課
15	総合体育館は、ほとんど倍くらいになっている。子供の負担も大変。	<p>改定案については、算定の前提条件を基に算出している。また、他の民間施設あるいは、他の自治体の施設の状況を勘案をして設定しているが、子供の利用については、一定の減額などの対応は考えたい。</p>	政策部長	当日の回答に同じ	公共施設マネジメント課

第2部市政全般について(その他)

	質問内容	当日の回答	回答者	補足、現在の状況・今後の対応等	担当課
16	<p>クリーンセンターができて温浴施設もできる。</p> <p>秦野、伊勢原だけでごみ処理をしているが、もっと広域のごみ処分場という議論をしたほうが良いという気がする。秦野、伊勢原だけだと温度がそんなに上がらない。もっと大きい焼却場だと、相当な高温で焼却するので、ダイオキシンの心配がないと聞いた。できれば、小田原とか平塚とか広域のごみ処分を考えられないか。</p>	<p>温浴施設は、今回9月議会で条例を上程した。熱源については、最近の施設は非常に効率が良く、焼却量によって熱源が衰えるといった心配はない。はだのクリーンセンターで十分温浴施設の温度を保てるような熱源は確保できている。</p> <p>広域処理について、実際に神奈川県では、ごみの広域処理については、指導をしている。平塚では二宮と大磯と1市2町で広域処理をしている。広域処理は、伊勢原市を含めて課題だと思っているので、今後の方向性も見定めたいので、実際には二市組合で検討をするような形で、投げかけをしていきたい。</p>	<p>クリーンセンター周辺整備担当課長</p>	<p>当日の回答と同じ</p>	<p>クリーンセンター周辺整備担当課</p>
17	<p>クリーンセンターと同時に、都市計画道路の建設を速やかに進めていただきたい。</p> <p>また、国道246号線の渋滞が生活上不便。伊勢原の病院に行くが、小一時間かかる。将来的に、弘法山にトンネルを作るという話も聞くが、環境を維持しながら、進めていく必要があると思う。今後の見通しを聞きたい。</p>	<p>都市計画道路曾屋名古木線について、県道秦野二宮線のクリーンセンター入り口から曾屋弘法土地区画整理事業区域内を通り、246に至る道路ということで、総延長は1,800メートルの道路が計画され、すでに、400メートルが整備されております。クリーンセンター入り口から曾屋弘法土地区画整理事業区域内までの区間、約870メートルを第1期計画として整備を行うという計画を持っており、今年度は現地の調査を予定しています。平成28年度から32年度に都市計画を決定し、事業化を進めていきたいと考えております。</p>	<p>都市政策課長</p>	<p>地元権利者との意見交換会を定期的に開催し、事業化に向けた合意形成に努めている。</p>	<p>都市政策課</p>
18	<p>八坂神社から県営秦野団地へ抜ける道について、先般、八坂神社の前の稲本組のところをセットバックしてして広げ、その部分については改良工事をしていただいた。その先の県営秦野団地の方が、まだ手狭になっている。そこは、通学路になっており、温浴施設等ができれば、通行する車も増えてくるので、引き続き、お願いしたい。</p> <p>また、すえひろこども園の上側のところが、片側交互通行になっている。その部分についてもよろしくお願いしたい。</p>	<p>お話しのあった2カ所については、現地を見て危険が及ぶ部分もあることは確認しているが、整備の方法とか今後どうやって進めていくかということをもう少し時間をいただいて検討させていただきたい。</p>	<p>道路整備課長</p>	<p>当日の回答と同じ</p>	<p>道路整備課</p>

19	<p>すえひろ自由広場は、フェンスが大分傷んでいる。今後改修する予定はあるのか、それとも今後検討して何年か先になるのか、できれば早めにお願ひしたい。</p> <p>また、時間で閉めることもおねがひしたい。夜遅く若者が広場に集まって、安全上も問題がある。</p>	<p>所管していますスポーツ推進課が出席していないので、スポーツ推進課に伝えさせていただく。</p>	カルチャーパーク課長	<p>フェンスが傷んでいることは承知している。予算の範囲内で緊急性の高い施設から順次改修していく。</p> <p>夜間の閉場については、利用者の利便も考慮しながら対応を検討したい。</p>	スポーツ推進課
20	<p>栄町公園の裏の道が、通勤や通学とで通る人が多い。雨が降ると水がたまり、長靴がないと歩けない。通勤、通学の人が困っている。</p>	<p>現地がよくわからないので、後で詳しく聞かせいただき、現地を確認する。</p>	道路整備課長	<p>路面の排水勾配がない箇所が一部あるため、水がたまる状況でした。</p> <p>平成29年度予算要望しましたが、採択には至らなかったため、引き続き次年度採択に向けて進めてまいります。</p>	建設管理課
21	<p>県営秦野団地でもお年寄りが多くなっている。市役所に行くにも、秦野駅まで出て、バスを乗り換えないと市役所まで行けない。いろいろ施設に行くにも直接行けないような状況。市では、コミュニティバスを路線バスの走っていない所から市役所などへ行けるようなものを考えているか。</p>	<p>上地区などではコミュニティバス、乗り合いタクシー等の運行を行っている。市街化の中の全体的な公共交通等々につきましては、公共交通推進課という課で検討をしているので、また折に触れ検討内容を示す時が来ると思うので、その時には、ご協力の方をお願いしたいと思っている。</p>	都市整備課長	<p>コミュニティタクシーの運行は既存バス路線の廃止等により公共交通空白地となった地域の移動手段の1つとして考えております。</p> <p>各地区等から市役所等の公共施設へ直接来所できるようなコミュニティタクシーの運行は予定しておりません。</p>	公共交通推進課
22	<p>集合住宅に入っている人の自治会加入率が低い。その中には、ごみの出し方が非常に悪いところがある。集合住宅を管理している会社からゴミカレンダーだけは、渡してもらいたい。更に、自治会加入の案内パンフレットも住宅管理会社を通じて自治会加入の促進を図ってほしい。</p>	<p>平成27年度に宅地建物取引業協会湘南中支部と自治会連合会と市の三者で自治会加入の促進について協定を結んでいる。加入のパンフレットなども不動産業者から渡せるようにしている。本市への転入手続きの際に戸籍住民課の窓口で加入のしおりを渡すとともに、ごみのカレンダー等も同時に渡している。</p> <p>2月、3月に翌年度のごみのカレンダーについて、自治会に加入していないアパート等の住民に対して管理会社等に郵送している。</p>	市民自治振興課長	<p>当日の回答と同じ</p>	市民活動支援課 環境資源対策課

23	ヤマビル対策の現状と野生のシカの現状についてお聞かせいただきたい。	環境保全課で所管しているが、出席していないので後日回答させていただきたい。	クリーンセンター周辺整備担当課長	ヤマビルについては、今年度市内の自治会、農業生産組合、観光団体等の12団体に草刈り等のヤマビルが生息しづらい環境整備や薬剤散布の協力をお願いしています。市では、これらの団体に駆除活動費用の支援を行っています。事業費としては、12団体の合計で130万円を補助しています。なお、本町地区については、山谷農業生産組合から要望がございましたので、平成29年度から支援できるよう県と調整しているところです。また、ニホンジカの現状についてですが、県の推計では丹沢を中心として5,000頭程度生息しているとのことです。このニホンジカの対策につきましては、県と市町村が協力して銃器や罠による捕獲を実施しており、年間2,000頭を超えるニホンジカを捕獲しています。本町地区については、弘法山周辺に出没していることから、農業生産組合や環境保全課が曾谷山谷地域で箱罠やくくり罠に設置して捕獲に努めているところです。	環境保全課
24	名古屋宮前交差点について、渋沢方面から右折しにくい。矢印信号にできないかお願いしているが、どのような状況か。	右折信号をつけるにあたって、警察が現地確認をしており、現在は、公安委員会の代行をする本部に上申している。結果はわからないが、手続きは進んでいる。	くらし安全課長	当日の回答に同じ	くらし安全課
25	温浴施設の進捗状況はどのようなか。	7月に工事を着工し、現在、スケジュールどおり進んでいるので来年の秋には完成する予定。また、料金等につきましても、条例を制定したが、実際は指定管理者に管理をお願いする予定であり、決定したらお知らせしたい。	クリーンセンター周辺整備担当課長	当日の回答に同じ	クリーンセンター周辺整備担当課
26	道路の畦畔の草刈りと樹木の伐採をお願いした。7月か8月をお願いしたが、まだ樹木の伐採がされていない。	建設管理課が所管となるので、連絡させていただく。	道路整備課長	H28対応済み	建設管理課

27	パークゴルフ場の整備の計画はあるか。	カルチャーパーク内へのパークゴルフ場の整備については、芝生広場に6ホールから7ホール程度の初歩、入門的なものの整備をする。パークゴルフの効果や利用者数が多いことも十分承知しているので、新東名の高架下、栃窪スポーツ広場などが整備できる場所なのかどうか調査し、費用はどの程度かかるのかの算出もしている。パークゴルフ場ができることによって周辺も含めた活用ができるように、また、できるだけ早く方向性を示したいと考えている。	カルチャーパーク課長 市民部長	当日の回答に同じ	スポーツ推進課
----	--------------------	---	--------------------	----------	---------